



2010年9月7日掲載

## 富士山紀行／スバルライン編

今月は、夏休み終盤に行った富士山への日帰りドライブの模様をお送りしよう。「つれづれWEB」では、富士山方面は過去に「[富士五湖紀行](#)」(2001年10月掲載)、「[富士山麓紀行](#)」(2006年1月掲載)と題してお送りした。

しかし、いずれも富士山そのものには登っていない。そこで、今回は我がグレカリブで五合目まで行くことにしたのだ。

7:35に自宅を出発。今回は山梨側から五合目を目指すので、中央道河口湖ICに向かう。

我が家からなら、環八と甲州街道で調布ICから中央道に乗るのが王道だが、朝の環八は渋滞が激しい。そこで、練馬ICから関越道を下り、鶴ヶ島JCTで圏央道に、八王子JCTで中央道に入るというルートを選んだ。

関越道、圏央道ともに至って順調。出発からちょうど1時間で、八王子JCTを通過した。

素直に環八を通っていたら、まだ調布ICにたどり着いていなかったかもしれない。まさに、「急がば回れ」である。

ただ、その分高速料金は大きく違う。練馬―河口湖が3000円なのに対し、調布―河口湖は1300円である。

ETC割引に加え、中央高速大月―河口湖は無料化の対象であるため、実質的には大月までの料金となる。それでも、圏央道経由だと中央道の倍以上なので、時間を買ったようなものなのだ。

途中、談合坂SAで休憩。まだだった朝食をとる。

20分ほどで談合坂SAを出発、一路河口湖ICを目指す。

大月JCTで本線と分かれ、トンネルを抜けてしばらく走ると、目の前に富士山が広がった。しかも、あまり雲がない。

この調子なら、五合目からの眺めもよさそうだ。いやが上にも期待が高まる。

ところが、我が息子はどうも納得がいかないらしい。聞くと、富士山に雪がないからというのだ。

河口湖ICから、富士スバルラインに入る。途中、道路に音符がマーキングされているところがあった。

50km/hで走ると、「富士山」のメロディが流れるとのこと。早速、50km/hの速度を守って走ってみると、「♪あたまを雲の上に出し～」と歌っていた！

路面に溝を刻み、溝の間隔で音程を決めているようだ。そのため、スピードが変わると音程も変わってしまうらしい。

でも、曲の前半で終わってしまった。続きが非常に気になるが、後半は逆方向で聞けるらしい。

スバルラインの料金所に到着。ここで、1枚のチラシをもらう。

「渋滞情報」と題したチラシには「ただいま、五合目周辺駐車場が満車となっているため、下記規制ポイントにて入山規制を行っています」と書かれていた。夏休み終盤だけあって、五合目は混んでいるようだ。

料金所を通過し、いよいよ山登り。五合目までの24.1km、延々と上りが続く。

この段階での外気温は、我がグレカリブの温度計によると31℃。果たして、五合目は何度になるのだろうか？

途中、何台も自転車を追い抜く。果敢に、脚力だけで五合目を目指しているのだ。

順調に一合目、二合目、三合目と通過していく。すると、我が息子が突然「うんち」と訴えてきた。

三合目から約5km進むとトイレがあるが、そこまで持ちそうにない。すると、渡りに船で仮設トイレがあった。

漏らすこともなく、無事済ませることができたのだ。ついでに、家族3人でトイレ休憩にする。

どんどん登っていくと、雲の中に突入。このままだと、五合目からの眺望は期待できなくなるかも……。

でも、すぐに晴れてきた。というより、雲の上に来てしまったのだ。

下界を見渡すと、そこは乳白色の世界。気分はくもじいである。

五合目まであと2kmというところで、チラシの通り渋滞に捕まる。終点の五合目まで、どのくらいかかるのだろうか？

この続きは[こちら](#)からどうぞ。

[\[トップページ\]](#)



2010年9月14日掲載

## 富士山紀行／五合目編

今回は、「富士山紀行」の2回目。前回は、[こちら](#)をご覧ください。

富士スバルラインを順調に進んできたが、五合目まであと2kmでついに渋滞に。夏休みも最後ということだけあって、多くの人が訪れているだろう。

渋滞で待っている間、観光バスや路線バス、タクシーはスイスイと通過していく。一方、五合目から降りてくるマイカーもいる。

「午前中なのにもう下山？」との疑問が湧く。実は、山頂でご来光を拝みに来た人たちが、ちょうど五合目まで降りてきて帰るころなのだ。

ということは、駐車場もどんどん空きがあるということに。そのため、ちょっとずつではあるが先に進んでいく。

ところが、残り1kmでついに完全ストップ。10分待っても、20分待っても、進まなくなりました。

渋滞が始まった付近から、道の両側に「路傍駐車場」と呼ばれる駐車場が続いている。1km歩けば五合目なので、ちょうど運よく空いたスペースに車を止めた。

ところで、五合目の気温は21℃。麓では31℃だったので、10℃低いことになる。

ただ、あくまでグレカリブの外気温計での値。この外気温計は2℃ほど高く出る傾向にあるので、実際には麓は30℃を、五合目では20℃を下回っているはずである。

思ったより気温は低くはなかった。寒さに備えて長袖を積んでいったが、いざ外に出るとそれほどでもない。

嫁さんと我が息子は、一応長袖を持って車を降りた。私は、暑がりなので半袖のまま下車する。

11:00、歩いて10分ほどで五合目に到着。平日にもかかわらず、まるで休日の繁華街のような人出だった。

日本人だけではなく、外国人も目立つ。中国人も多いようで、至る所で中国語が聞こえてきた。



五合目を散策すると、小御嶽（こみたけ）神社を発見。早速参拝する。人が多く、参拝

も行列。しかし、2～3分待てば参拝できた。

その後、我が息子はロボットの獅子舞のおみくじをやり、結果は大吉。本人も満足そうだった。

さらに、我が息子は絵馬にも挑戦。保育園の水泳で、賞が取れるようお願いをしていたようだ。

ところで、五合目は晴れているものの、麓も山頂も雲で覆われていて見えない。気温が上がって

きて、雲ができやすくなっているようだ。



下を見るとこんな様子。一方、上

を見てもこんな様子なのだ。

標高2305mからのすばらしい眺めを期待していたが、何も見えずじまい。眺望は、次



回以降でぜひとも果たしたい。

小腹も空いてきたので、屋台で軽食を買う。私は串焼き肉、嫁さんは焼きイカ、我が息子は焼きかまぼこを食べた。

我々が屋台で注文したあと、屋台は行列に。間一髪で、混雑に巻き込まれるところだった。

五合目に1時間半ほど滞在し、下山する。以後は[こちら](#)へ続く。

[\[トップページ\]](#)



2010年9月23日掲載

## 富士山紀行／ほうとう&河口湖編

富士山の日帰り旅行を「富士山紀行」と題してお送りしているが、今回は3回目。[1回目](#)、[2回目](#)はそれぞれからどうぞ。

12:20、1時間半ほど五合目に滞在し、富士スバルラインで下山する。途中、雲の中を通る。

すると、下界の様子がよく見えるようになった。三合目を過ぎた樹海台展望台では、富士五湖の様子がよく見えるようだ。

ただ、我が息子が寝てしまったため、樹海台展望台はスルー。そのまま麓まで降りたのである。

時間はちょうどお昼時、昼食を考えなくてはいけない。山梨といえば、武田信玄が広めたといわれる「ほうとう」である。

スバルラインの入口から国道139号線を西に進み、東恋路交差点へ。この角に、雲のような形の建物を発見した。

この建物、実はほうとう屋である。くもじいの番組にも取り上げられた店なのだ。



せっかくなので、入ってみることにした。中はドーム状になっていて、間接照明で天井を照らしている。

注文は、もちろんほうとう。5分ほどで、アツアツのほうとうが来た。

家族そろって猫舌なので、ほうとうを冷ましつただく。やはり、暑い中熱いほうとうを食べると滝のような汗が出る。

そんな中、我が息子は「この建物3億円かかったんだよ」とのたまう。くもじいで見たうんちくを披露したのだ。

ほうとうを食したのち、河口湖大橋を渡り河口

湖の北岸へ。過去にも訪れた、大石公園に向かう。

ここは河口湖に面しており、条件がよければ逆さ富士も見えるポイント。ただ、今回は富士山が雲に隠れてしまっている。



嫁さんは、隣接する河口湖自然生活館でおみやげを物色。一方、我が息子は河口湖の水がしょっぱくないか確かめていた。

大石公園を出発し、来た道に戻る。最後の目的地、温泉である。

ここから先は、[こちら](#)をご覧ください。

[[トップページ](#)]



2010年9月30日掲載

## 富士山紀行／ゆらり編

今月1か月間お送りしてきた「富士山紀行」も、いよいよ最終回。[1回目](#)、[2回目](#)、[3回目](#)はそれぞれをご覧ください。

15:00を過ぎ、大石公園を出発して河口湖大橋を渡る。東恋路交差点から国道139号線に入り、鳴沢村を目指した。

今回の旅で最後の目的地となる、富士眺望の湯「ゆらり」へ向かうのだ。その前に、おみやげも買わねばならない。

そこで、過去に何度も訪れたことがある道の駅に寄ることにした。ここでおみやげを調達したのだが、やはりほうとうは欠かせない。

道の駅とゆらりのほか、富士緑の休暇村など複数の施設が隣接している。道の駅の駐車場からゆらりまで歩けなくはないが、徒歩では少し遠い。

よって、おみやげを買ったあとは車でゆらりの駐車場へ。そして、ゆらりに入る。

本来、ゆらりの利用料は大人1200円。しかし、今回はウェブで割引券を入手したので、大人1000円で入ることができた。

「16種類の温泉」とうたっているが、利用料だけで入れるのは9種類のみ。残り7種類は、別途料金が必要となる。

男女左右対称で作られているので、男湯にあつて女湯にない温泉、あるいはその逆のパターンは存在しない。施設は男女平等に作られているのだ。

露天風呂からは富士の雄大な眺めが見られるほか、内風呂からでも富士の姿を見ることができる。夕方になって、富士山にかかっていた雲が取れ始めていた。



富士山を見ながら温泉につかるのは、実は最高! 1時間の入浴も、あつという間なのだ。

18:00にいよいよ出発。でもその前に、最後に雲がほとんどかかっていない富士山を、ゆらりに隣接した道の駅から撮影する。

帰りは、素直に河口湖ICから中央道で高井戸ICに出ることにした。途中の谷村（やむら）PAでトイレ休憩しつつ、交通情報を確認すると、小仏トンネルで渋滞しているらしい。

時間的には夕飯だが、談合坂SAはあえて通過し、次の藤野PAで止まる。ここには、大手ハンバーガーチェーンが店を出しているのである。

ところが、我が息子が期待していた子供用のセットがなかったのだ。PAだけに、メニューも通常の店舗よりも簡素化されていた。

ここでの食事をあきらめ、その次の石川PAを目指す。小仏トンネルの渋滞も大したことはなく、東京都に突入した。

小仏トンネルから15分で、石川PAに到着。ここは、フードコート形式になっているのだ。

嫁さんはつけ麺を、我が息子はざるうどんを、私は見たこともないハンバーガーショップのハンバーガーを食す。3人食べ物は別々だが、それぞれ満腹になった。

高井戸ICで中央道を降り、私の実家に寄っておみやげを渡したあと、無事帰宅。これにて「富士山紀行」は終了である。

今回は、残念ながら富士山五合目からの絶景を見ることができなかった。でもいつか、素晴らしい大パノラマを楽しむぞ！

[\[トップページ\]](#)